

岩見沢の記念碑

先人の労苦を偲び

未来へはばたく

発刊にあたって



岩見沢市教育委員会 教育長 舛甚 和俊

明治4年に北海道開拓使が設置され、明治17年に岩見沢村が誕生し山口県外9県より459人の士族移住から開墾が始まりました。その後、明治25年には岩見沢村から分村し栗沢村が誕生し、明治33年には同じく岩見沢村から分村し北村が誕生しました。それぞれの独自の文化を育み発展していく中で、平成18年の市町村合併により、新しい岩見沢市が誕生し、今年で5年目となりました。

このたび、郷土資料「岩見沢市各種記念碑等」調査研究実行委員の皆様のご熱意とご苦勞により、旧岩見沢市・栗沢町・北村がそれぞれ開拓期より営々と培ってきた歴史の一端を伝える記念碑をいまここに、新岩見沢市として集大成されましたことに心より敬意を表します。

記念碑は様々な分野の営みの中で、それぞれの地域の発展の礎となっていた先人の姿を今日に語り継ぐものでもあると思います。その意味でもこの「岩見沢の記念碑」が、文化財としても貴重な資料であることは間違いありません。

この「岩見沢の記念碑」が、後世の岩見沢市民に伝えられ、郷土岩見沢に愛着と誇りを育むものと思います。ここに実行委員の皆様、また、資料収集等にご協力いただいた各町内会長の皆様や関係された皆様のご苦勞に感謝申し上げます、発刊の言葉といたします。

作 成 の 経 緯

市町村合併後の新岩見沢市の貴重な郷土資料である、各種記念碑の碑文内容の確認と設置の由来や経緯・設置場所等を調査研究し資料としてまとめ、その資料の保存と文化財としての活用を図るため、平成21年度からの三か年計画で取り組んで参りました。

1年次目(H21)は岩見沢市の3地域(旧岩見沢市・栗沢町・北村)それぞれの記念碑等の所在を把握するため、全町内会へ碑文等の所在の確認の調査を行い、調査漏れの無いようにするとともに、また、徹底した実地調査を行い碑文の所在と内容の確認、文化財としての重要度の基準について検討いたしました。

2年次目(H22)は、記念碑等の種類の精査を行い、入植・開拓・発展の歩み「記念碑・顕彰碑など」、子弟の教育・開閉校の足跡「学校教育の歩みなど」、先人や災害への供養・安全への祈願「地蔵尊・供養塔・慰霊碑など」、家畜などへの畏敬と追悼「馬頭観音・畜魂碑など」、開拓の歴史を語る「道標・各種石柱など」、石碑の所在の目印となる「資料・岩見沢市の神社・寺院」の6分野に分け、資料としての重要度の基準を確立し、また、碑文内容の確認とデータづくりを進めました。また、「岩見沢市の神社・寺院」の掲載に当たっては、歴史的意義やまち・地域の開発発展に関連が薄いと思われる神社・寺院等は除きました。

3年次目(H23)は最終年として、過去2年間収集した碑文データを再検証し、極力正確な資料とし、資料全体の構成を完成させ、この度市民の皆さんへ提供させていただくことができました。

なお、碑文の文面掲載の中で、文字使用について誤使用と思われるものもあると思われませんが、現在ではその使用文字が誤りであるかどうかは確認ができませんので、あくまでも碑文に忠実に掲載することといたしました。

「岩見沢の記念碑」について

平成18年3月、岩見沢市・栗沢町・北村が合併し、新岩見沢市が誕生しました。それまで、独自の歴史と文化を築いてきた各市町村の人々が、新岩見沢市民としての意識を築いていくためにも、それぞれの地域の歴史を語る各種記念碑等を集大成したこの「岩見沢の記念碑」が活用されることで、新岩見沢市のまちづくりの一助になるとすれば幸いです。

岩見沢市教育委員会から調査研究の依頼を受けた私たち実行委員は、各町内会長さんからいただいた情報を基に徹底的に現地調査を行いました。

鬱蒼とした未開の地の開拓は、十分な知識や道具を持たない入植者にとって言語に絶するものであり、石碑はその苦労や功績を今日に伝える貴重な遺産であるとともに、これから生きる岩見沢市民にとって、地域づくり・まちづくりの糧となることを願っております。最後になりますが、多大なご協力をいただいた各町内会長の皆様や、事務局として資料等の作成にご尽力いただいた、郷土科学館関係者の皆様に感謝申し上げます。

郷土資料「岩見沢市各種記念碑等」
調査研究実行委員会
委員長 中野尚幸



実行委員氏名

実行委員長	中野尚幸	(岩見沢地区担当)	前列中央
副実行委員長	尾崎和男	(岩見沢地区担当)	後列中央
実行委員	武田修	(栗沢地区担当)	前列右
実行委員	土谷聖一	(栗沢地区担当)	後列左
実行委員	片山進	(北村地区担当)	前列左
実行委員	内藤健二	(北村地区担当)	後列右
事務局	岩見沢市教育委員会文化・スポーツ振興課郷土科学館		

「岩見沢の記念碑」 (非売品)

平成24年 3月 1日 発行

編集者 郷土資料「岩見沢市各種記念碑等」研究調査実行委員会
岩見沢市志文町809番地1号 岩見沢郷土科学館内

発行者 岩見沢市教育委員会
岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号 岩見沢市役所内

この「岩見沢の記念碑」は岩見沢市教育委員会のホームページに掲載されています。